

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	自然環境保全活動促進事業				事務事業コード	20220100
概要	市民主体、市民参加による自然環境保全活動の展開に係る事業を実施する。					
総合計画	基本施策	1	緑と生きものを育むまちづくりの推進	主担当部課名	生活環境部 環境政策課	
	施策	22	生物多様性の保護と回復	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	平成26年度～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	府中自然環境の保全に及び育成に関する条例					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市民					
事業目標	市民が気軽に取組を始められる環境や市民、環境保全活動団体、自治会、教育・研究機関（学生）、行政などの各主体がつながり、相互に活動の担い手を供給する環境を創出します。小中学校と連携し、次世代の担い手の育成を主眼とした環境教育の充実を図ります。					
事業内容	<p>▼市民や市内関係者より選出された委員により構成される自然環境調査員会議により、市内の生物の生育・生息状況や自然環境の状態を把握するための調査や生物多様性の保全活動を実施する。</p> <p>▼水辺の楽校事業により、多摩川の環境を活用した市内の子どもたちへの環境教育を実施する。</p> <p>▼緑の募金事業等により、市民参加による緑化の推進に係る取組みを実施する。</p>					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)								
① 小中学生に対する自然環境教育の実施件数	14	計画値	14	16	18	20	20	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	12	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	小学校の総合的な学習の時間の支援依頼が想定より少なかった。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	4,077,000	3,103,000	3,770,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	306,000	406,000	456,000	0	0	0
一般財源	3,771,000	2,697,000	3,314,000	0	0	0
予算現額	4,077,000	3,103,000	0	0	0	0
決算額	3,183,872	2,921,717	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,056,476	473,000	0	0	0	0
一般財源	2,127,396	2,448,717	0	0	0	0
執行率	78.1%	94.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.16	1.51				
職員人件費	9,088,376	12,078,975				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	84,531	172,945				
総コスト	12,356,779	15,173,637	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼小学校総合的学習の時間の支援 ▼緑の募金事業の実施 ▼落ち葉の銀行事業の実施 ※府中水辺の楽校事業については新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、一部事業が中止となった。		1年越しに開催することができた水辺の楽校の市民向けのイベントや小学校の総合的学習の時間の支援を通じては、多くの子どもたちに多摩川の自然環境について理解を深め、身近で貴重な自然環境に触れ合う機会を提供することができた。



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▼府中水辺の楽校事業の実施 ▼小学校総合的学習の時間の支援 ▼緑の募金事業の実施 ▼落ち葉の銀行事業の実施	水辺の楽校は身近な自然の存在に触れ合い、自然環境や生物多様性の大切さについて学ぶ貴重な機会となっており、より多くの子どもたちに体験してもらうよう継続して実施していく。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼府中水辺の楽校事業の実施 ▼小学校総合的学習の時間の支援 ▼緑の募金事業の実施 ▼落ち葉の銀行事業の実施		新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら、各取組を順調に実施することができた。



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼市民や市内関係者より選出された委員により構成される自然環境調査員会議により、市内の生物の生育・生息状況や自然環境の状態を把握するための調査や生物多様性の保全活動を実施する。 ▼水辺の楽校事業により、多摩川の環境を活用した市内の子どもたちへの環境教育を実施する。 ▼緑の募金事業等により、市民参加による緑化の推進に係る取組を実施する。	市内の自然環境の保全を推進するため、生物調査や保全活動に取り組む。水辺の楽校事業や、小中学校と連携した環境学習の実施などにより、次世代の担い手の育成を主眼とした環境教育の充実を図る。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	自然環境保全は長期的なスパンで継続的な取組を実施していくことが重要であることから、基本的な取組をより効果的な手法や内容の充実を図りながら展開していく。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1	
1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止 2 廃止 3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	15	25	1120500	自然環境調査員活動費	1,136,000	1,001,399	1,813,000
2	01	40	15	25	1121000	緑と花いっぱい運動推進事業費	1,367,000	1,320,318	1,357,000
3	01	40	15	25	1125000	水辺の楽校推進事業費	600,000	600,000	600,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							3,103,000	2,921,717	3,770,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	生物多様性地域戦略推進事業				事務事業コード	20220200
概要	府中市生物多様性地域戦略に基づき、生物多様性の普及啓発や保全に係る事業を実施する。					
総合計画	基本施策	1	緑と生きものを育むまちづくりの推進	主担当部課名	生活環境部 環境政策課	
	施策	22	生物多様性の保護と回復	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	平成26年度～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等	生物多様性基本法					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市民、市内事業者等					
事業目標	自然共生社会の実現を目指し、地域における多様な主体が連携して、生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた具体的な取組みを行うことを促進し、良好な自然環境の保護・回復に寄与する。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ▼生物多様性の理解浸透を図る普及啓発イベント等の開催 ▼生物多様性情報の調査、収集と発信 ▼外来生物対策 					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)								
① アライグマ・ハクビシン捕獲駆除件数	22	計画値	24	26	28	30	30	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	28	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
要因の具体的内容	市民へのPRの充実を図ったことにより捕獲器の設置数が大幅に増加し、また捕獲器設置後の使用者へのフォローアップも改善したこと等により、捕獲数の増加につながったと考えている。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	2,449,000	2,401,000	2,396,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	425,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	421,000	414,000	0	0	0
一般財源	2,024,000	1,980,000	1,982,000	0	0	0
予算現額	2,449,000	2,401,000	0	0	0	0
決算額	1,581,031	2,031,472	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	235,800	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	448,500	0	0	0	0
一般財源	1,345,231	1,582,972	0	0	0	0
執行率	64.6%	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.15	1.51				
職員人件費	9,010,028	12,078,975				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	83,802	172,945				
総コスト	10,674,861	14,283,392	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
自然環境調査の実施 生物多様性情報の整備委託 生物多様性パネル展、講演会 住環境獣対策 (アライグマ・ハクビシン) ・箱わな設置 34件 ・捕獲駆除 12件	東京農工大学の委託事業により、府中崖線の植物相に関する調査を実施した。また、パネル展を継続開催し、生物多様性地域戦略の浸透を図った。生物多様性講演会を2～3月に計画していたが、コロナウイルスの影響により次年度オンライン開催などの措置を取った。 住環境獣対策 (アライグマ・ハクビシン) を実施し、市民の良好な住環境の保全に努めた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
自然環境調査の実施 生物多様性情報の整備委託 生物多様性パネル展 生物多様性に関する講演会 住環境獣対策 (アライグマ・ハクビシン)	市内の自然環境についての情報の集約と、市民に対する生物多様性を知る機会の提供を継続していく。 住環境獣対策については、参画している「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に即し、東京都や周辺自治体との連携を進める。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
自然環境調査の実施 生物多様性情報の整備委託 (東京農工大学受託研究「水田調査」) 生物多様性パネル展 (アライグマ・ハクビシン被害等) 生物多様性に関する講演会 (ヤマトスナハキバチ、土壌生物、田んぼの生きもの) 住環境獣対策 (アライグマ・ハクビシン)	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら、各取組を順調に実施することができた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼生物多様性の理解浸透を図る普及啓発イベント等の開催 ▼生物多様性情報の調査、収集と発信 ▼外来生物対策	自然共生社会の実現を目指し、地域における多様な主体が連携して、生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた具体的な取組みを行うことを促進し、良好な自然環境の保護・回復に寄与する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	府中市環境基本計画 (府中市生物多様性地域戦略) に基づき、同計画の重点プロジェクトである武蔵台緑地生物多様性保全プロジェクトなど、生物多様性の保全と普及啓発の推進に係る事業を実施していく。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1	
1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止 2 廃止 3 完了		

(単位:円)

6 構成事業一覧

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	15	25	1117600	生物多様性地域戦略推進事業費	1,687,000	1,566,119	1,682,000
2	01	40	15	25	1118000	自然保護啓発普及費	714,000	465,353	714,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							2,401,000	2,031,472	2,396,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	民有緑地保全支援事業			事務事業コード	20220300
概要	良好な自然環境の保護又は美観風致を維持するため、一定基準を満たす樹木等の保存を奨励する				
総合計画	基本施策	1	緑と生きものを育むまちづくりの推進	主担当部課名	生活環境部 環境政策課
	施策	22	生物多様性の保護と回復	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成26年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市自然環境の保全及び育成に関する条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	市民				
事業目標	適正な管理による健全な育成を促し、地域にある貴重な緑として樹木を維持していく。				
事業内容	指定基準を満たした樹木について、これらの維持管理に係る費用負担の軽減を図る支援を実施する。				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 指定樹木の本数	929	計画値	910	890	870	850	1	2	3	4	5	6	7	8
	本	実績	917	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容	枯死等により若干の減少はあったが、目標本数は維持できた。													
		計画値					要因の類型(※)							
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容														

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	6,380,000	6,206,000	6,062,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,380,000	6,206,000	6,062,000	0	0	0
予算現額	6,380,000	6,206,000	0	0	0	0
決算額	5,950,025	5,906,375	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,950,025	5,906,375	0	0	0	0
執行率	93.3%	95.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.65	1.51				
職員人件費	5,092,625	12,078,975				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	47,366	172,945				
総コスト	11,090,016	18,158,295	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼保存樹木 指定本数1,998本 ▼保存樹林 面積829.46㎡	市内民有地にある貴重な樹木の維持、保全に貢献した。	



A 重点化・拡大
 B 現状のまま継続
 C 見直し
 D 休止・廃止
 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
指定している樹木に対し、奨励金を交付する。	身近な自然環境を保全する必要があることから、事業を継続していく。一方で、維持管理が困難になっている樹木もあり、樹勢の衰えた樹木が優れた樹形を保つための剪定や施肥による地力回復、病虫害対策などに関して、助言や指導の機会を提供する仕組みづくりなどについても検討していく。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 C 見直して継続
指定している樹木に対し、奨励金を交付した。	奨励金の交付により、指定樹木を一定の水準で維持できた。	



A 重点化・拡大
 B 現状のまま継続
 C 見直し
 D 休止・廃止
 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
指定基準を満たした樹木について、これらの維持管理に係る費用負担の軽減を図る支援を実施する。	適正な管理による健全な育成を促し、地域にある貴重な緑として樹木を維持していく。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続		指定樹木は枯死や管理困難等の理由により減少傾向にあり、樹木の保全を図るためのより効果的な管理者支援策も検討していく。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	C	
1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止 2 廃止 3 完了	1	

(単位:円)

6 構成事業一覧

R 4年度	R 5年度	6 構成事業一覧					予算事業名	R 4年度		R 5年度
		会計	款	項	目	事業コード		当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1131000	補助金 樹木保存事業費	6,206,000	5,906,375	6,062,000	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
合 計							6,206,000	5,906,375	6,062,000	

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	公園緑地等維持管理事業				事務事業コード	20230100
概要	公園緑地等の維持管理					
総合計画	基本施策	1	緑と生きものを育むまちづくりの推進	主担当部課名	都市整備部 公園緑地課	
	施策	23	公園緑地等の活用促進	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	府中市立公園条例					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市民、公園利用者					
事業目標	公園・緑地が持つ機能を、今後とも十分に発揮できるよう、適切な維持管理を行っていく。					
事業内容	誰もが快適に公園を利用できるよう、清掃や点検、樹木の適切な維持管理、遊具等公園施設の修繕などを行います。ボランティア市民や事業者など様々な主体との協働による管理・運営の取組を展開します。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	要因の類型(※)									
① 公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	68.9	計画値	67.7	70.1	72.6	75.1	75.1	1	2	3	4	5	6	7	8
	%	実績	70.4	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容	令和4年度総合計画に関する市民意識調査において評価されたため。														
② インフラ管理ボランティアの長期登録者数	38	計画値	42	44	45	46	46	要因の類型(※)							
	団体	実績	65	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容	制度をより使いやすいように見直したことにより、登録者数が増加傾向を示している。														

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	830,032,000	881,469,000	900,794,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	14,860,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	28,486,000	70,084,000	54,371,000	0	0	0
一般財源	801,546,000	811,385,000	831,563,000	0	0	0
予算現額	823,500,000	890,469,000	0	0	0	0
決算額	809,518,753	847,043,234	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	29,095,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	23,922,276	61,960,443	0	0	0	0
一般財源	756,501,477	785,082,791	0	0	0	0
執行率	98.3%	95.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	14.30	10.80				
職員人件費	112,037,740	86,392,667				
月額制会計年度任用職員数	1.1	1.1				
月額制会計年度任用職員人件費	3,573,561	3,539,928				
(間接経費)						
間接経費	3,686,298	2,364,075				
総コスト	928,816,352	939,339,903	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
公園・緑道等における樹木管理、清掃等の維持管理、遊具・設備の修繕を実施した。 公園における新たな管理手法を進めるための委託事業を実施した。	公園・緑道等の適切な維持管理を行った。 花壇制度の周知を行うなど、インフラ管理ボランティア制度を推進した。 公園管理の新たな手法を導入するための方向を示し、調整や手続きを進めた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
公園・緑道等における樹木管理、清掃等の維持管理、遊具・設備の修繕のほか、公園における指定管理者制度の導入を進める。	<ul style="list-style-type: none"> 公園・緑道等の適切な維持管理の実施 インフラ管理ボランティア制度の推進 公園における指定管理者制度導入の手続きを進める。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
公園・緑道等における樹木管理、清掃等の維持管理、遊具・設備の修繕を実施した。 公園における指定管理者制度の導入を進め、事業者を決定した。 コミュニティガーデン講座を市民と協働で行った。	公園・緑地等の適切な維持管理を行った。 インフラ管理ボランティア制度の推進や、市民協働事業であるコミュニティガーデン講座の実施を通じて、市民との協働による公園管理を進めた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
公園・緑道等における樹木管理、清掃等の維持管理、遊具・設備の修繕のほか、公園における指定管理者制度の運用を進める。 コミュニティガーデン講座の実施、植生管理におけるボランティアとの方針共有、インフラ管理ボランティア制度の推進などを通じて、市民協働による公園管理を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 公園・緑道等の適切な維持管理の実施 インフラ管理ボランティア制度の推進 公園における指定管理者制度の運用を進める

R 6年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性								
<p>A 重点化・拡大して継続</p> <p>B 現状のまま継続</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> <tr> <td>2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</td> </tr> <tr> <td>3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> </table> <p>C 見直して継続</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 見直し・縮小</td> </tr> <tr> <td>2 他事業との整理・統合</td> </tr> </table> <p>D 休止・廃止等</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 休止</td> </tr> <tr> <td>2 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 完了</td> </tr> </table>	1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	1 見直し・縮小	2 他事業との整理・統合	1 休止	2 廃止	3 完了	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>市民からの様々な要望に迅速に対応していくため、地域に合った維持管理の方法を考えていくことが必要である。そのため、市民や事業者との協働による安心・安全な公園・緑地等を維持し、市民が親しみを感じることが出来る空間としていかななくてはならない。</p>
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)									
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)									
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)									
1 見直し・縮小									
2 他事業との整理・統合									
1 休止									
2 廃止									
3 完了									

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	15	20	1103000	公園緑地等管理費 管理委託料	752,412,000	721,328,964	685,743,000
2	01	40	15	20	1104000	公園緑地等管理費 光熱水費	23,187,000	30,738,842	29,474,000
3	01	40	15	20	1105000	公園緑地等管理費 諸経費	99,886,000	89,602,482	88,058,000
4	01	40	15	20	1105110	公園緑地等管理運営費 管理運営業務委託料(債務負担行為解消分)			97,519,000
5	01	40	15	20	1106000	管理用車両購入費	5,745,000	5,150,000	
6	01	40	15	20	1136600	公園施設指定管理者候補者選定委員会運営費	239,000	222,946	
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							881,469,000	847,043,234	900,794,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	公園緑地等整備事業				事務事業コード	20230200
概要	既存の公園等を活かした、水と緑のネットワークの形成を主眼とした整備を進める。					
総合計画	基本施策	1	緑と生きものを育むまちづくりの推進	主担当部課名	都市整備部 公園緑地課	
	施策	23	公園緑地等の活用促進	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等	府中市立公園条例					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市民、公園利用者					
事業目標	既存の公園等を活かした、水と緑のネットワークの形成を主眼とした整備を進めることで、緑の将来像の実現を目指す。					
事業内容	水と緑のネットワークにおける、緑の拠点として位置付けられた公園等やネットワークゾーンとして位置付けられた緑道等について、機能を高めるよう整備を進める。 また、遊具の更新やフェンスの改修など既存の公園等を活かした整備を行う。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)								
① 市民一人あたりの都市公園面積	6.93	計画値	6.94	6.95	6.96	6.97	6.97	1	2	3	4	5	6	7	8
	m ²	実績	6.93	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容	都市公園の面積、人口とも大きな変動が無いため。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	376,165,000	527,961,000	513,875,000	0	0	0
国庫支出金	9,900,000	26,000,000	32,000,000	0	0	0
都支出金	26,000,000	24,000,000	10,045,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	191,000,000	312,723,000	298,000,000	0	0	0
一般財源	149,265,000	165,238,000	173,830,000	0	0	0
予算現額	318,445,000	542,213,000	0	0	0	0
決算額	317,003,663	538,188,993	0	0	0	0
国庫支出金	10,000,000	26,000,000	0	0	0	0
都支出金	8,690,000	17,365,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	181,000,000	274,723,902	0	0	0	0
一般財源	117,313,663	220,100,091	0	0	0	0
執行率	99.5%	99.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.40	2.20				
職員人件費	18,803,537	17,598,506				
月額制会計年度任用職員数	0.9	1.9				
月額制会計年度任用職員人件費	2,923,823	6,114,420				
(間接経費)						
間接経費	789,921	814,512				
総コスト	339,520,944	562,716,432	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の更新 公園・緑道整備 測量設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な公園づくりを行った。 公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行った。 	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な公園づくりを行う。 公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の更新 公園・緑道整備 測量設計委託

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の更新 公園・緑道整備 測量設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な公園づくりを行った。 公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行った。 	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な公園づくりを行う。 公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行う。 公園施設長寿命化計画を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の更新 公園・緑道整備 測量設計委託 公園施設長寿命化計画策定委託

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	水と緑のネットワークの形成を基本的な考え方とした整備を進めるとともに、災害時や地域活動など多角的に活用できるようにするため、機能の充実を図る必要がある。また、誰もが親しむことができる公園とするため、市民や事業者とともに公園づくりに取り組んでいく。
B 現状のまま継続		
<ol style="list-style-type: none"> 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載) 		
C 見直して継続	1	
<ol style="list-style-type: none"> 見直し・縮小 他事業との整理・統合 		
D 休止・廃止等		

6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	15	20	1111980	公園緑地等整備事業費 調査委託料	396,000	429,000	5,410,000
2	01	40	15	20	1112010	公園緑地等整備事業費 整備工事費	469,500,000	426,728,500	448,100,000
3	01	40	15	20	1112011	公園緑地等整備事業費 整備工事費	0	54,252,000	
4	01	40	15	20	1112030	公園緑地等整備事業費 測量設計委託料	22,400,000	22,399,638	27,300,000
5	01	40	15	20	1113500	公園灯LED化整備等事業費 設置等委託費(債務負担行為解消分)	8,365,000	8,364,180	8,365,000
6	01	40	15	20	1117000	公園緑地等整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
7	01	40	15	20	1136300	公園施設長寿命化計画策定費	26,300,000	26,015,675	23,700,000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							527,961,000	538,188,993	513,875,000